

日本天文学会 第73回公開講演会

南極から宇宙の姿を探る

2024 年

9 月 14 日 (土)

13:00-15:30

(開場 12:30)

講演 1

南極天文台から銀河と宇宙の謎に挑む



講師：中井 直正

関西学院大学 フェロー

地上最高の天文観測環境にある南極内陸部の高原地帯に新しい基地を作り、口径 12m 高精度電波望遠鏡を設置して遠い宇宙の観測から銀河と巨大ブラックホールの誕生と進化、宇宙の膨張率と宇宙年齢の謎に挑む。

講演 2

南極の氷からひもとく地球と宇宙とのつながり



講師：望月 優子

理化学研究所 仁科加速器科学研究センター 雪氷宇宙科学
研究室 室長、 埼玉大学大学院 理工学研究科 連携教授

東南極の内陸に位置する南極高原に、日本南極地域観測隊によって建設された観測基地「ドームふじ」がある。ドームふじの地下深くの氷を分析すると、地球の過去の気候変動や火山活動に加えて、過去の太陽活動をも探ることができる。さらには、天の川銀河内で発生した「超新星爆発」の痕跡を捉えることができる可能性もある。本講演では、これらの研究を紹介し、私たちの住む地球と宇宙とのつながりについて考える。



会場

三田キッピーモール

6 階多目的ホール (まちづくり協働センター)

兵庫県三田市駅前町 2-1

対 象：中学生以上・一般向け 主 催：公益社団法人 日本天文学会

形 式：対面

共 催：関西学院大学

定 員：200 名 (先着順)

参加費：無料

www.asj.or.jp/jp/epo/lecture/



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY